

## 第 10 回日本緩和医療薬学会年会

薬剤部 野村 香織

2016年6月3日～6月5日の3日間、アクトシティ浜松で第10回日本緩和医療薬学会年会が開催され、当院薬剤部係長の牧原俊康先生がシンポジウムで講演いたしました。

本シンポジウムは、透析導入前後の薬物療法と病態に関連したテーマでした。牧原先生の講演は、薬物の透析性（透析で除去されにくい条件：分子量大、蛋白結合率大、分布容積大）と透析が必要な患者様の薬物動態（特に排泄能の低下）などの基本的な知識に関すること、また緩和ケアチームで経験された事例（薬剤選択、副作用モニタリングにおける留意点など）に関する内容でした。

近年透析が必要な患者様の数は増加しており、薬剤師がそうしたスペシャル・ポピュレーションへの疼痛緩和を目的とした薬物療法に関わる機会も増えることが想定されるため、今回の学会で得た知見を明日からの業務へ活かしていきたいと思っております。

[ 牧原俊康先生 左から1人目 ]

